

茨城・日立産廃処分場

共同企業体

株木建設JVが受注

218億1300万円

1者のみ応札 落札率99.97%

明らかな利益誘導
ではないか!!

2021年3月県議会で江尻県議が追及していました

単なる偶然でございます

江尻かな県議

大井川知事

江尻かな県政NEWS

2024年5月
日本共産党
茨城県議団

【江尻議員の議会質問要旨】 予算特別委員会

民間の産業廃棄物の処理責任は民間にあるのに、なぜ県が処分場をつくるのか—県は「茨城県産業資源循環協会から要望があったから」と説明。しかし、問題なのは、要望書を出した産業資源循環協会の会長が日立セメントの元専務であり、日立セメントは株木建設のグループ会社。その株木建設は各地で処分場建設を請け負っており、選ぶ側と選ばれる側が同じというのは明らかな利益誘導ではないか。

【大井川知事の答弁要旨】 循環協会会長が株木建設あるいは日立セメントの関係者だというのは単なる偶然でございますし、ご指摘のような利益誘導は一切ございません。

質問答弁の動画はこちらから→



こんな答弁が通用するでしょうか？



▼茨城県がエコフロンティアかさまの後継施設として日立市諏訪町の太平田鉱山(日立セメント社有地)に整備する新産業廃棄物処分場。その建設工事の入札が行われ、株木建設(水戸市)を代表とする特定建設工事共同企業体(JV)が落札。

▼入札参加者は同JVのみで、事前公表され

た予定価格218億1932万円(消費税込み)に対し、218億1300万円で落札。落札率は99.97%でほぼ予定価格通り。

▼同JVは株木建設のほか、オカベ(日立市)・秋山(日立市)・鈴縫(日立市)・共和化工(東京都品川区)の5社で構成され、建設工事は5月に着工し、2026年度中に開業予定。

新産業廃棄物最終処分場イメージ図



茨城県資料

整備事業費

208億 → 230億 → 389億 → ? 億円

候補地として選定した時点 基本設計の時点 新規搬入道路を含めて 今後も資材高騰・工期延長？

ふくらむ事業費

「どこに処分場をつくるのか」ー県内多数の候補地から日立セメント鉾山跡地を選んだときの資料では、概算事業費を約208億円と示していました。

その後、処分場の基本設計段階230億円に増え、さらに県は処分場のために新規搬入道路(県道)をつくることになりました。その道路は学校や住宅地をぬうように山を登り、高架橋2か所とトンネル2か所をつくる約4kmの大型工事で、建設費は約120億円。そして、処分場の詳細設計・入札の段階になって、「資材高騰などで事業費が269億円になる」と県は説明。道路とあわせると389億円になり、当初の1.7倍にふくらんでいます。

江尻議員は3月県議会で、「そんな場所を選んだのが間違いであり、工事中止を」と主張。県は「安全第一にすすめていく」と答えるだけです。

「1者応札は官製談合では？」

処分場の建設と運営は、県が出資する「一般財団法人茨城県環境保全事業団」が行っています。事業団は昨年11月に処分場建設工事の一般競争入札を公告。しかし、入札に参加したのは株木建設JVのみでした。

県「1者応札の取扱い」改定

これに対し、「1者で認められるのか?」「競争原理が働かない」「官製談合では?」との声が県民から寄せられました。

県では、土木部の2022年度建設工事の一般競争入札(2040件)のうち、1者応札は4%程度で、多くは2者以上が参加して行われています。

ところが、県は2023年2月に入札参加者が1者の場合の取扱いを改定し、1者応札

で認める要件を緩和。事業団は「その県の規定に準じた」と説明しています。

参加が1者だけになった理由について、事業団は「2024年問題で建設業の人手不足の顕在化に加え、工期が長いこともあり、企業が慎重になったのではないかと推察し、「入札のやり直しは必要ない」と判断したとしています。

ちなみに、エコフロンティアかさまの入札は12者のJVが参加しましたが、事前の談合情報どおりのJVが落札した経緯がありました。今回の入札も公平公正と言えるのか、疑念が広がります。



←入札結果の公表はこちらから

市町村の廃棄物 今度は日立に埋立て？



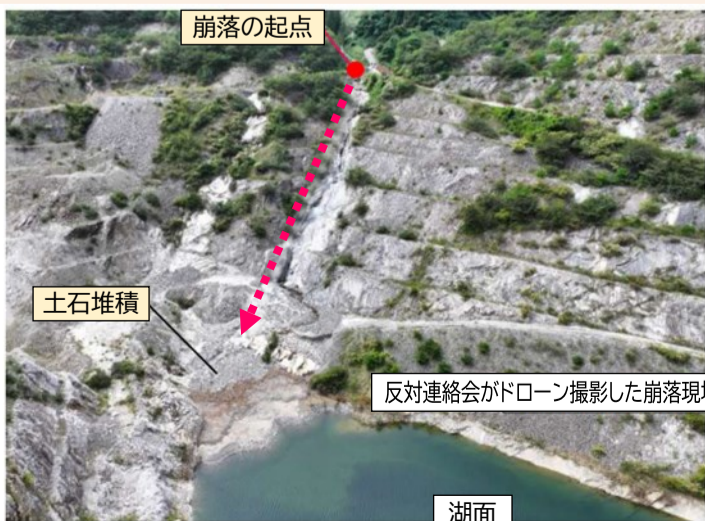
県の埋立処分場エコフロンティアかさま(笠間市)には、産業廃棄物だけでなく市町村が一般ごみを燃やしたときに出る灰やばいじんも埋立て処分されています。(右表)

地域住民が建設に反対 水戸地裁に提訴

「洪水・土砂崩落の危険」「多額の県費投入やめよ」

江尻議員は4月25日の裁判を傍聴しました。原告で地域住民の荒川さんは「産廃処分場予定地の唐津沢湖は、昨年9月の台風13号で上流域に崩落が発生して湖に大量の雨水や土砂が流れ込んだ。自然の防災ダム機能をはたしている湖を埋立て、そこに産廃を埋立てれば洪水が廃棄物を押し流し、下流の鮎川で被害が発生する」と訴えました。

また、荒川さんら反対連絡会は「処分場や搬入道路に巨額の県費を使うべきでない」と主張。「周辺の生活環境や自然を守れ」とねばり強く住民運動に取り組んでいます。



焼却灰などの廃棄物をエコフロンティアかさまに搬入・埋立てしている自治体一覧 (2022年度)

自治体・組合	廃棄物の種類	年間搬入量(t)
常陸太田市	焼却灰	1,274
高萩市	焼却灰・ばいじん	641
大宮地方環境整備組合	焼却灰	1,266
大子町	焼却灰・ばいじん	481
笠間市	可燃・不燃・粗大ごみ、缶類	5,422
城里町	焼却灰・ばいじん	557
東海村	ばいじん	370
鹿島共同再資源化センター	焼却灰・ばいじん	2,614
神栖市	がれき類	2
牛久市	焼却灰・ばいじん	191
湖北環境衛生組合	ばいじん	54
常総地方広域市町村圏事務組合	熔融スラグ・ばいじん	2,170
古河市	ばいじん	486
筑西広域市町村圏事務組合	熔融スラグ	13
茨城県	感染性廃棄物・ばいじん	276

ご意見や要望、情報をお寄せください

電話 / 029(301)1387
mail / kengidan@ibjcp.gr.jp

日本共産党茨城県議 江尻 かな

